

2.18
結集!!



第15回

開催日時

令和6年2月18日(日)

午前9時50分～午後4時30分(9時開場)

場所

TKP東京ベイ幕張ホール

千葉市美浜区ひび野2-3 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

メインテーマ

「いき方」を支える連携

第一部 1)9:50~10:45 2)9:50~11:50

3)10:55~11:50 4)12:20~12:50

各分科会

1)リハビリテーション職/入退院支援/栄養士

2)薬剤師

多職種カンファレンス『ACPを考える～ロールプレイを通して～』

3)看護職/医療ソーシャルワーカー

4)千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会世話人会

第二部 13:10~16:30

特別講演・モデル事業報告

1)特別講演

『意思決定支援とはー共同意思決定とACP』

東京大学大学院人文社会系研究科

死生学・応用倫理センター上廣講座特任教授 会田薫子先生

2)モデル事業報告

千葉市医師会、松戸市医師会、香取都市医師会、

山武都市医師会、市原市医師会

各分科会報告・総括



千葉県・千葉県医師会 共催

後援 千葉県歯科医師会、千葉県薬剤師会、千葉県看護協会、千葉県栄養士会、
千葉県介護支援専門員協議会、千葉県訪問看護ステーション協会、
千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議、千葉県医療ソーシャルワーカー協会

目次

開催要項	2
会場案内図	4
【第一部】各分科会	6
リハビリテーション職分科会	7
薬剤師分科会	8
医師分科会（多職種カンファレンス）	9
入退院支援分科会	10
栄養士分科会	11
看護職分科会	12
医療ソーシャルワーカー分科会	13
【第二部】特別講演、シンポジウム、分科会報告、総括	14
特別講演『意思決定支援とはー 共同意思決定とACP』	15
モデル事業報告 千葉市医師会	16
松戸市医師会	17
香取郡市医師会	18
山武郡市医師会	19
市原市医師会	20
分科会報告	21
総括	22
参考資料	23
千葉県脳卒中等連携の会CAMP-S参加証	巻末

名札シール記入と貼付のお願い

参加者のみなさまは、各自職種別に指定された色の名札シールへのご記入と、見えやすい位置への貼付またはネームホルダーに入れてください。

職種別に色分けされた名札シールは、総合受付横の名札記入場所に設置しております。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



■職種別シール色分け

- (赤色) 医師
- (青色) 歯科医師、歯科衛生士
- (緑色) 薬剤師
- (黒色) 看護職
- (紫色) リハ職
- (白色) 管理栄養士、栄養士
- (桃色) MSW
- (橙色) 福祉職、ケアマネジャー
- (黄色) 行政、医療団体、事務等

開催要項

メインテーマ：「いき方」を支える連携

日 時 令和6年2月18日（日）09:50～16:30（開場 9:00～）

場 所 TKP東京ベイ幕張ホール

千葉県美浜区ひび野2-3 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

プログラム：

[敬称略]

【第一部】各分科会（09：50～11：50）

（09：50～10：45）

第1会場 リハビリテーション職分科会

第2会場 薬剤師分科会

第3会場 医師分科会（多職種カンファレンス）

第4会場 入退院支援分科会

第5会場 栄養士分科会

（10：55～11：50）

第1会場 看護職分科会

第2会場 薬剤師分科会

第3会場 医師分科会（多職種カンファレンス）

第4会場 医療ソーシャルワーカー分科会

（12：20～12：50）

第5会場 千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会世話人会

【第二部】特別講演、モデル事業報告、分科会報告、総括

[総合司会]

千葉県医師会理事 松岡かおり

[開会挨拶]（13：00～13：10）

公益社団法人千葉県医師会長 入江 康文

千葉県健康福祉部保健医療担当部長 鈴木 貴士

[特別講演]（13：10～14：10 講演：45分、質疑15分）

座長：千葉県医師会副会長 金江 清

「意思決定支援とは — 共同意思決定とACP」

東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座

特任教授 会田 薫子

（休憩10分）

[モデル事業報告] (14:20~15:50)

座長：千葉大学医学部附属病院患者支援部部长・特任准教授 竹内 公一

千葉県看護協会会長 寺口 恵子

(各15分間)

- | | | |
|----------|----------------------|-------|
| ・千葉市医師会 | 理事 | 田那村 彰 |
| ・松戸市医師会 | あおぞら診療所 | 沼沢 祥行 |
| ・香取郡市医師会 | 副会長 | 鴫田 純一 |
| ・山武郡市医師会 | さんむ医療センター整形外科部長・医務部長 | 石川 哲大 |
| ・市原市医師会 | 会長 | 中村 文隆 |

[分科会報告] (15:50~16:20)

座長：東京歯科大学市川総合病院脳神経外科教授 片山 正輝

帝京大学ちば総合医療センター管理栄養士 鯨岡 春生

(各5分間)

- | | | |
|-----------------|------------------------|-------|
| ・リハビリテーション分科会 | 新東京病院 作業療法士 | 伊藤 正樹 |
| ・薬剤師分科会 | プラザ薬局習志野 薬剤師 | 溜渕 智之 |
| ・入退院支援分科会 | 東京歯科大学市川総合病院 看護師 | 松田留美子 |
| ・栄養士分科会 | 船橋市立医療センター 管理栄養士 | 松原 弘樹 |
| ・看護職分科会 | 東邦大学医療センター佐倉病院 看護師 | 黒沼佐与子 |
| ・医療ソーシャルワーカー分科会 | 千葉みなとリハビリテーション病院 社会福祉士 | 中野 まや |

[総括] (16:20~16:30)

千葉県医師会地域連携推進委員会副委員長

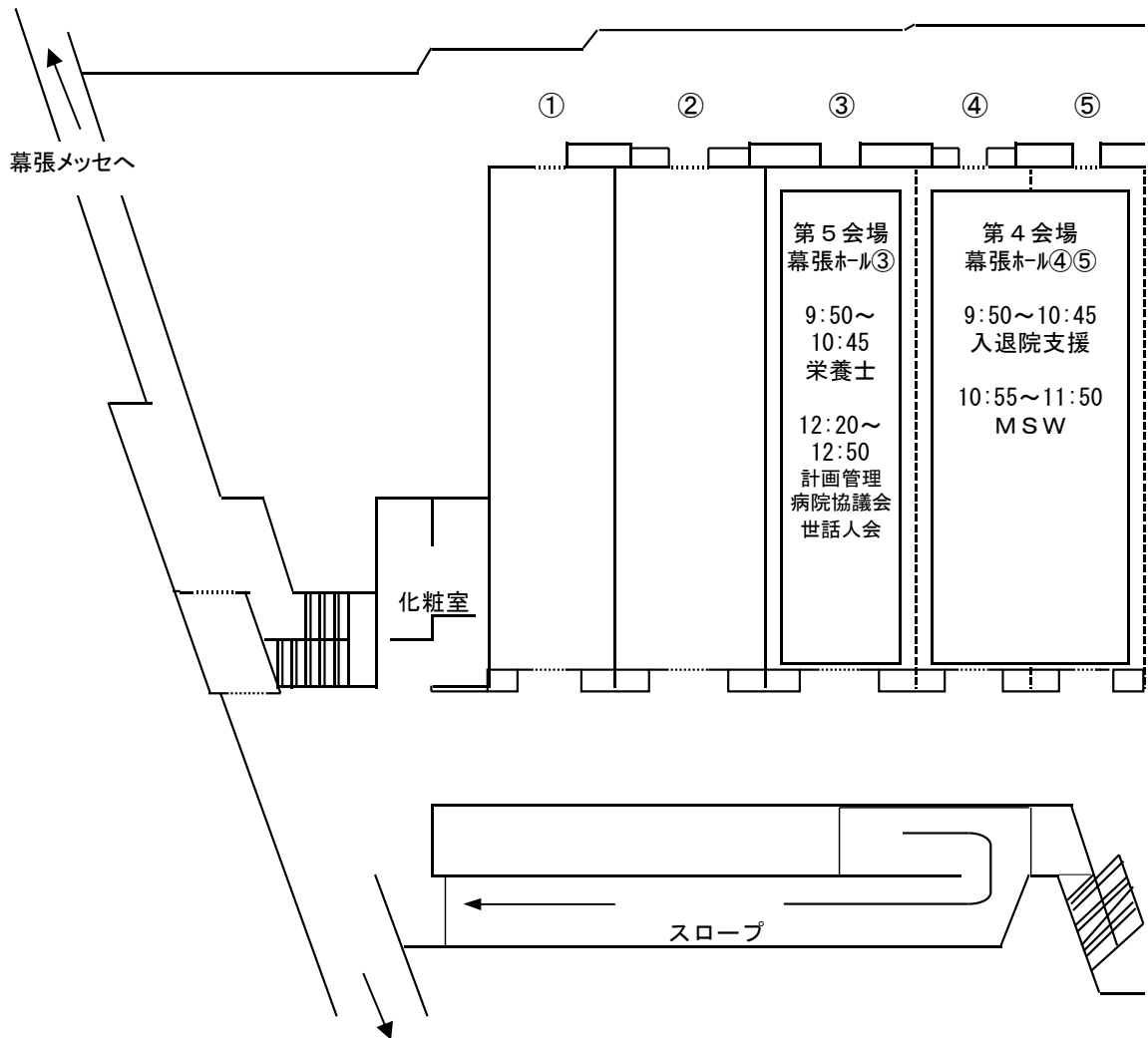
千葉県脳卒中等連携意見交換会代表 古口 徳雄

[閉会] (16:30)

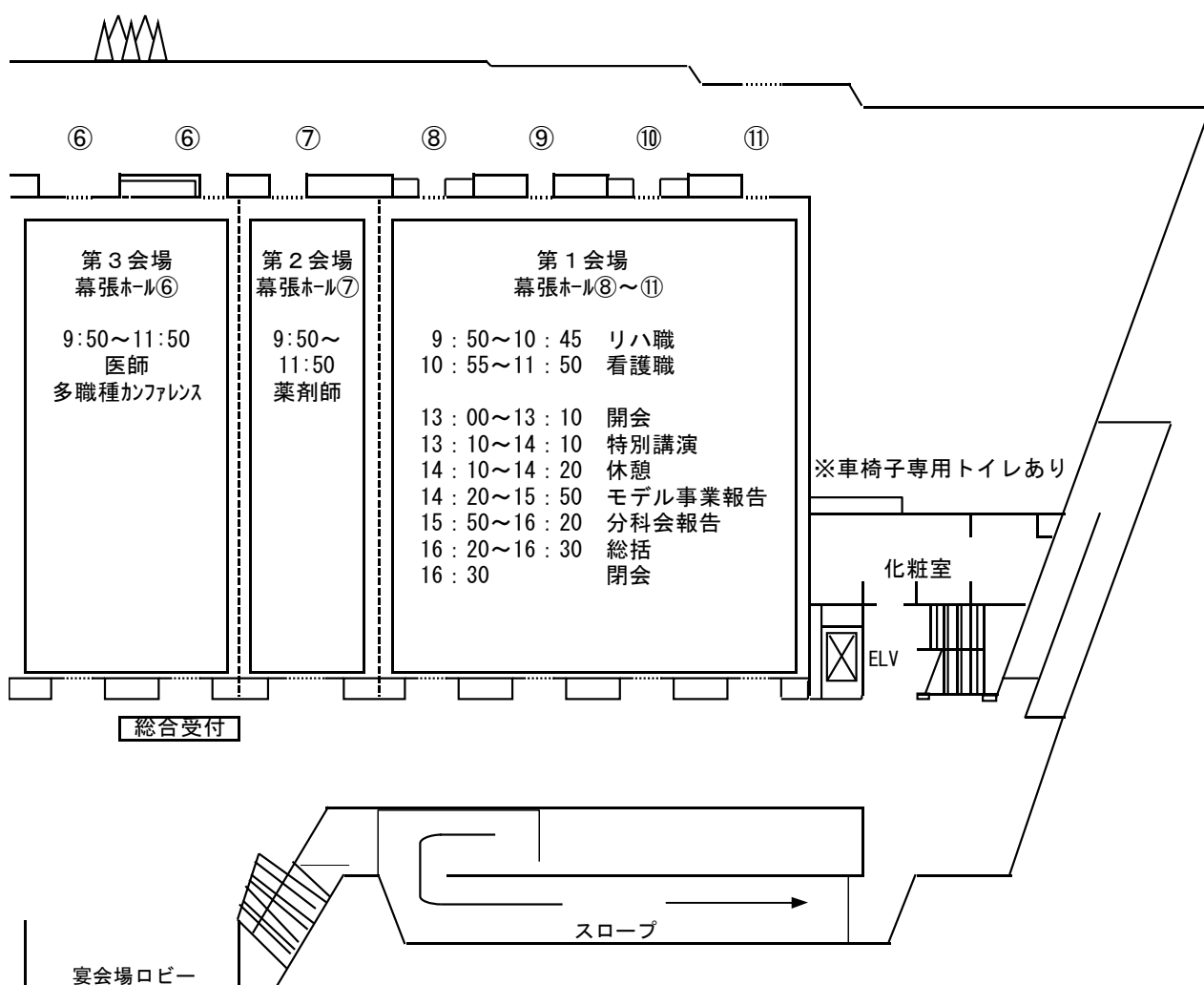
会場案内図

第15回千葉県脳卒中等連携の会

幕張ホール 2 F



令和6年2月18日(日) 9:50~16:30



※会場内は、お持込みの飲食はできません。
※ご昼食等は、隣接のワールドビジネスガーデン又は、同ホテル内にレストラン街がございますのでそちらをご利用ください。

【第一部】各分科会

【09 : 50～10 : 45】

- 第1会場 リハビリテーション職分科会
- 第2会場 薬剤師分科会
- 第3会場 医師分科会（多職種カンファレンス）
- 第4会場 入退院支援分科会
- 第5会場 栄養士分科会

【10 : 55～11 : 50】

- 第1会場 看護職分科会
- 第2会場 薬剤師分科会
- 第3会場 医師分科会（多職種カンファレンス）
- 第4会場 医療ソーシャルワーカー分科会

リハビリテーション職分科会

時 間 09:50～10:45

会 場 幕張ホール2階 第1会場

「急性期病院におけるACP (Advance Care Planning)」

～トルソー症候群の1症例を通して～

千葉労災病院 言語聴覚士 池田 有紀

急性期病院では、患者の状態が短期間に大きく変化することがある。そのためACP (Advance Care Planning) では、限られた時間の中で患者・家族のその時々意思決定の情報を多職種で共有し、柔軟に対応する事が求められる。

今回、自宅退院の方針から病態悪化に伴い緩和ケアへ移行した、トルソー症候群（悪性腫瘍に合併する凝固能亢進状態）による血栓性脳梗塞の70代男性に対するACPに基づく支援を経験した。その内容を治療期・移行期・終末期にわけて報告する。

「地域における勉強会に関する意識調査」

新東京病院 理学療法士 寺西 司

高齢者の特徴である重複障害の観点から、脳卒中以外の疾患・病態においても知識の共有および連携の強化が重要であると考えた。そこでテーマを決定するためアンケートを行ったところ、心不全に関するリスク管理における勉強会を希望する意見が多かった。そのため『心不全患者のリスク管理と連携』のテーマで勉強会を実施し、その後満足度などアンケートにて評価し、その有用性を検証したため発表する。

「リハビリテーション×栄養」

千葉市立青葉病院 作業療法士 成富 大輔

近年リハビリテーション×栄養の重要性は認知されてきているものの、県央ブロックにて現状調査を行うと十分に行えていないことが分かった。そこで、県央ブロックの14施設の全セラピストを対象に、質問紙を用いて実態調査を行うこととした。結果については当日発表させていただくとともに、リハビリテーション×栄養という観点から当院で行っている活動について紹介する。

薬剤師分科会

時 間 09：50～11：50

会 場 幕張ホール2階 第2会場

テーマ 薬剤師の視点で考えるACPについて

座長 帝京大学ちば総合医療センター飯塚雄次

【開 会】9：50～9：55

【演題発表】9：55～10：35

- (1) 薬剤師として、在宅療養患者のACPに寄り添うために
株式会社あゆみ あかり薬局 高柳論也

在宅医療においては、職種同士の物理的な距離が大きいため、Advance care planning（以下、ACP）を目的としたカンファレンスなどが実施される機会は少ない。しかし、そもそも在宅医療は患者が住み慣れた場所で暮らしたいという希望を前提に提供される医療であり、そこには患者本人や家族の意思決定が不可欠である。在宅医療を担う薬剤師として、患者の意思決定に対峙する場面は多く、これをサポートするスキルも必要である。本発表では演者が対峙した患者の意思決定、あるいは広義のACPを報告するとともに、それに対応するためのスキル獲得の糸口について検討する。

- (2) 患者を活かすための薬剤師 ～ACPを難しく考えない～
富沢産業株式会社 とみざわ薬局グループ 富沢道俊

高齢者だけではなく若年での終末期の方たちが増えている昨今、最後の場所を病院と選ぶ方もいればご自宅を選ぶ方もいて多様性があるうえに、これから2024年に死亡者数のピークを迎えるにあたり、患者の数だけACPがある中で我々がどのようにプロフェッショナルとして関わるべきか、その対応の為に1つの事例として地域の調剤薬局の薬剤師の私がどのように終末期患者と関わっていったかなど経験・事例も含め、皆様と共有する。

【グループディスカッション】10：35～11：35

【総合討論】11：35～11：50

【閉 会】11：50

医師分科会

時 間 09：50～11：50

会 場 幕張ホール2階 第3会場

千葉県脳卒中等連携意見交換会代表

古口徳雄

国際医療福祉大学教授

荻野恵美子

千葉県脳卒中等連携の会現地開催では、多職種退院カンファレンスは午前の部の各分科会の中でも見学者を含めると毎回200名以上の参加者があり、人気の企画となっています。通常は急性期あるいは回復期病院から自宅退院する患者さんについて、入院担当と居宅担当にかかわる多職種がグループカンファレンスを行う型式で行って行っていました。今回は、テーマを「ACPを考える～ロールプレイを通して～」と致しました。従来の多職種カンファレンスは患者さんなしで医療・介護の専門家が患者さんについて話し合うという形式をとっていましたが、ACPについて患者さん・患者家族不在でのカンファレンスは考えられないので、初めての試みですがロールプレイという型式に致しました。この領域で経験の豊富な荻野恵美子先生に企画・運営をお願いしました。

「ACPを考える～ロールプレイを通して～」

普段当たり前のように行っていることですが、改めてACPを意識して患者さんやご家族に今後についてのお話をする場面をやってみましょう。急性期の場面と慢性期の場面での違いを経験し、できれば普段の立場と異なった役回りをしてみましょう。

ロールプレイは患者さんやご家族の気持ちでその場に望むと、思わぬ発見があるものです。それぞれの役の方には秘密の情報をお渡ししますので、それをふまえて演じていただきます。そして医療機関同士の連携として、ACPの内容もしっかり伝えるような情報提供がある時とない時を体験していただこうと思います。

参加者の皆様同士で、“なるほどそういう言い方もいいね！”という経験を沢山していただくことで、明日からの臨床に生かすことができると思います。楽しみながら参加していただくと幸いです。

入退院支援分科会

時 間 09：50～10：45

会 場 幕張ホール2階 第4会場

分科会テーマ： つなぐ・つなげる・つながるACP
～もっと知りたいお互いの気持ち～

内容： 行政・在宅事業所、医療機関従事者でのグループディスカッション

入退院支援部会には、在宅事業所、行政、医療機関等の多職種のメンバーで意見交換をしています。今年度はACPを一つの大きなテーマとしています。

厚生労働省ではACPの愛称を人生会議としていますが、リビングウィルやエンディングノートといった形で各自治体にて作成している物もあります。各医療機関や在宅事業所において、ACPについて指針はあっても現場で実践する取り決めはなく、特に急性期の医療機関においては、延命処置を行うかどうか、DNARの確認のみになる事も少なくない現状です。在宅で生活している方は、まだ元気だから考える必要がないからと、話し合いをもつタイミングが難しいと支援者からの意見もありました。

ACPについて日々の業務の中で実践する場が少ないだけでなく、どう話をしたらよいか、どのように記録したらよいか定まってない中で、在宅と医療機関、医療機関同士で情報共有も十分にできていないのが現状のようです。

今回の入退院支援部会では、在宅と医療機関で勤務するスタッフが集まり、それぞれの所属機関での取り組んでいる事や、困っている事を共有し意見交換をすることで皆様の日々の業務の一助になれば幸いです。皆様がどう考えているのか知る事から始めてみませんか。

栄養士分科会

時 間 09:50～10:45

会 場 幕張ホール2階 第5会場

座長：松原 弘樹（船橋市立医療センター）

I グループワーク 『栄養シートの改訂について』

千葉県では、「千葉県保健医療計画」に基づき、「千葉県共用地域医療連携パス」を千葉県医師会、関係病院等と協働して作成し、運用をしている。この中で脳卒中では平成26年から「栄養シート」を加え、栄養部門で作成したものを施設間での情報共有のツールとして活用している。

その後、令和2年診療報酬改定で「栄養情報提供加算」が新設された。これは、算定可能な入院栄養食事指導に、栄養管理に関する情報（必要栄養量、摂取栄養量、嚥下食コードを含む食事形態、禁止食品、栄養管理に係る経過等）を示す文書を用いて患者に説明するとともに、医師または管理栄養士が存在する医療機関や老健、在宅等に提供した際に加算されるものである。様式は示されておらず、必要事項が記載されていればよいものである。

令和4年度診療改定では特定機能病院に限って、入院栄養管理体制加算が新設されたが、この加算を算定する場合、入院栄養食事指導やNST加算は算定できないが、「栄養情報提供加算」だけは算定が可能であり、医療連携に重きを置いていることがわかる。

今回、「栄養シート」を11年ぶりに「栄養情報提供加算」ができるシートに改訂するため、症例を用いてグループワークを行い、項目内容を検討していく。

症例提示・アンケート結果報告 小川 朝希（東京女子医科大学八千代医療センター）

ファシリテーター グループ 1 鯨岡 春生（帝京大学ちば総合医療センター）

グループ 2 上野 浩明（千葉県がんセンター）

グループ 3 浜田 和昌（新東京病院）

グループ 3 齊藤 秋子（季美の森リハビリテーション病院）

グループ 4 武藤 枝実（千葉県総合救急災害医療センター）

グループ 4 森 結子（千葉みなとりハビリテーション病院）

グループ 5 中込 弘美（東京湾岸リハビリテーション病院）

グループ 5 鈴木 真美（東京歯科大学市川総合病院）

グループ 6 武井 裕美（五香病院）

グループ 6 小林 裕子（東京ベイ・浦安市川医療センター）

II 栄養シートの運用報告 中込 弘美（東京湾岸リハビリテーション病院）

看護職分科会

時 間 10:55～11:50

会 場 幕張ホール2階 第1会場

テーマ 「いき方」を支える連携
～意思決定支援におけるジレンマ～

総合司会

- ・新東京病院 長谷川晴美
- ・船橋市立リハビリテーション病院 亀山笑美

臨床の現場では、看護師の役割のひとつとして、患者の思いを引きだすことや、時には代弁者となり家族や多職種と意見を交わすことがあります。その中で、患者・家族の気持ちに寄り添うことはもちろん、患者の望みや価値観を推し測り、思いを反映することに難渋する場面があると思います。

脳卒中は突然発症の疾患であり、急性期においては、今後の希望について話し合われないうまま患者の意思表示が困難となる場合があります。混乱が生じやすい現場で家族の希望だけを聞き、患者の価値観を探ることが困難な現状はないでしょうか？また回復期においては、退院先について自宅か施設か、経口摂取の継続か経管栄養(PEG)にするか等、患者と家族の意見が異なる場面や他職種間の意見が食い違う場合もあります。

患者の意思決定支援における臨床現場での関わり、悩み、ジレンマを振り返り、グループで議論し共有することで、「意思決定支援」の本質を探ります。

医療ソーシャルワーカー分科会

時 間 10:55～11:50

会 場 幕張ホール2階 第4会場

テーマ 「最期まで本人が望む「いき方」の選択について
～支援者として何が出来るかを考える～」

目 的:事例をもとにグループワークを行い、人生会議(ACP)を身近に考える機会とする。人の生き方、人生の最終段階における医療・ケアについて本人による意思決定を尊重するため支援者として何が出来るのかを考える。医療・介護従事者をはじめとする支援者が本人・家族とともに話し合うことの大切さを再確認する。

新型コロナウイルスの影響で暫くあらゆる学会がオンライン開催となっていたこともあり、医療ソーシャルワーカー部会では直接顔を合わせる機会を作りたいとの意見が多く聞かれた。そこで今年度の医療ソーシャルワーカー分科会ではグループワークを通して意見交換を行う機会を設けた。

近年、人生会議(ACP)の重要性は浸透してきたとは言え、医療の現場でも急な事故や病状の変化により本人の意思表示が難しくなった際に周囲が戸惑うような場面に出会うことは少なくない。

今回、おゆみの居宅介護支援事業所 所長 村上孝重氏をお招きし、入退院を繰り返す一事例をもとに、在宅と病院両視点から患者本人の「いき方」の選択についての考えを話し合うグループワークを企画した。時間の経過や状態により気持ちは揺れるものであり、人生会議(ACP)はその都度行われるべきであると考え。本人の価値観や意思を大切にしつつ、家族、支援者、取り巻く環境をどうアセスメントしていくか。短い時間ではあるが、本人と家族や知人、医療・ケアチームが合意形成するためのプロセスを学び、実際にACPに関わる今後のソーシャルワークの質の向上に繋げたい。

【第二部】

13:00 - 13:10	開会挨拶
13:10 - 14:10	特別講演
14:10 - 14:20	休憩
14:20 - 15:50	モデル事業報告
15:50 - 16:20	分科会報告
16:20 - 16:30	総括

特別講演

時 間 13:10～14:10

会 場 幕張ホール2階 第1会場

「意思決定支援とは ― 共同意思決定とACP」

東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座
特任教授 会田薫子

長寿社会の日本において、人生の最終段階まで本人らしく生きることを支援しようという声が高まっている。多職種が医療・ケアチームとして協働する意思決定支援の重要性も浸透しつつある。

意思決定支援は臨床倫理の中核の課題である。臨床倫理は現場において、一人一人の患者が直面する治療法やケアの方法および療養場所等の選択に関する問題に対応する。本人にとって最善とは何か、最善を実現するための選択肢は何かをめぐり、本人を中心に家族等多職種と一緒に考え、悩みも共有しつつ、適切な意思決定プロセスをたどり合意を形成する。

意思決定支援の際には、適切な診断を土台として、本人の生活と人生のなかで最も適切な選択肢を選ぶべく、本人・家族側と医療・ケアチーム側は情報を共有しつつ、「共同意思決定(shared decision-making: SDM)」に至るよう対話のプロセスを進める。この考え方によって人生の最終段階の医療・ケアの選択のための対話を繰り返すと、それがACP (advance care planning) になる。ACPはリビング・ウィルなどの事前指示の不足を補いつつ発展してきた。

ACPはそもそも英語圏で概念形成され実践が進められてきたが、英語版を翻訳すれば日本で使用できるわけではない。意思決定に関する社会的文化的特徴および法制度に相違があるためである。大きな違いとして、事前指示に関する法制度の有無に関わる問題がある。そもそも事前指示の法制度を有する諸外国では、法的文書である事前指示書を作成することに注力するが、その法制度のない日本では、文書作成に注力する考え方はなじまない。ACPを適切に実践していくためには、家族の位置づけなどを含め、日本における意思決定のあり方に関する特徴を認識し、社会環境に合った方法を検討しつつ普及を図る必要がある。

そこで日本老年医学会は「ACP推進に関する提言」(2019)を発表した。同「提言」はACPの目標を「本人の意向に沿った、本人らしい人生の最終段階における医療・ケアを実現し、本人が最期まで尊厳をもって人生をまっとうすることができるよう支援すること」としている。本人の視点から本人にとっての最善を実現しようと努めると、併せて家族ケアも可能になることが多い。

現場では多職種が各自専門職として相互に敬意をもって協働することが大切である。臨床倫理をよりよく実践しようとする姿勢をもって現場に臨むと、本人の幸せの実現に貢献することが多くなる。それは優れた仕事による成果であり、医療・ケアチーム自身の仕事の充実感にもつながる。その繰り返しが組織のなかに倫理的な土壌を育み、倫理的な臨床実践の実現を一層可能とする。

モデル事業報告 千葉市医師会

時 間 14:20～15:50 (各15分間)

会 場 幕張ホール2階 第1会場

千葉市医師会 理事 田那村彰

○要旨

(1) 主旨

入退院の際に、医療機関・介護事業所が協働、情報共有を行うことで、高齢者のその後の日常生活を一体的に支える体制を構築することを目指す。

(2) 背景

平成30年度に、千葉市医師会及び千葉市が中心となり、千葉市圏域における入退院支援検討委員会が発足し、入退院時における情報共有や連絡体制について協議し、病院連携室の窓口一覧の作成やおくすり手帳の活用による情報共有などの対応策を実施し入退院時の円滑な連携支援の取組みを行った。

令和2年度には国から「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver 3」で、入退院時は医療・介護連携に取り組むべき場面と示されたことから、入退院時の病院とケアマネジャー等との連携強化を図るため、引続き本事業に取り組むこととし、「入退院支援の手引き」の作成に至った。

(3) 取組

- ア 平成30年度 市内病院連携室窓口一覧 作成・配布
- イ 令和元年度 名刺入れ付きお薬手帳カバーの作成と配布
- ウ 令和2年度 リーフレット「入退院支援の手引き」作成と配布
※令和2年度千葉県医師会医療と介護で作る地域連携モデル事業
※作成委員会 千葉県医師会 千葉市医師会 千葉市老人福祉施設協議会
千葉市立青葉病院 千葉市立海浜病院
千葉みなとリハビリテーション病院
千葉市介護支援専門員協議会
千葉市在宅医療・介護連携支援センター
- エ 令和4年度 リーフレット「入退院支援の手引き」改訂

(4) 取組の成果

千葉県医師会「医療と介護で作る地域連携モデル事業」を活用し、在宅と病院・病院と施設等が連携するために必要な問題や課題を、各機関・事業所及び専門職間で共有することができた。

療養場所が変更することになっても、病院と在宅、各病床や施設が入退院時の流れに沿って、必要な情報や必要書類をどのように共有し、切れ目のない支援を行っていくかについて、市内の医療機関・介護サービス事業所に周知することができ、入退院連携の強化に繋がった。

モデル事業報告 松戸市医師会

時 間 14:20～15:50 (各15分間)

会 場 幕張ホール2階 第1会場

地区医師会として「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業に取り組む

松戸市医師会 沼沢祥行

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業には、通いの場等においてフレイル予防の普及啓発を実施するなどのポピュレーションアプローチと、「リスクを有する高齢者」に対して個別に保健指導を行うハイリスクアプローチがある。本事業では、後期高齢者の医療レセプト・健診データ・介護保険情報が突合された、市町村が有する国保データベース(KDB)を活用することができる。外来で把握しづらい患者のリスクも包括的に把握して診療を行うべきという基礎的議論に基づき、松戸市医師会としてハイリスクアプローチの一部委託を市に要望し、令和4年度より受託することになった。取り組む事業のテーマとして、初年度は「骨折の二次予防」を選択した。

事業対象者として、骨折の病歴を有するが、適切な骨粗鬆症の治療が為されておらず(例:大腿骨近位部骨折や腰椎圧迫骨折などの脆弱性骨折の既往があるが、ビスホスホネートやデノスマブ等による強化治療が為されていない)、介護保険サービスをほとんど利用していない後期高齢者を抽出した。

事業対象者の医科レセプトから、病名(既往歴や併存症)、処方(転倒リスクとなる薬剤やポリファーマシー)、治療(心房細動、CKD、心筋梗塞に対するPCI歴など)、医療機関や診療科(受診中断や、いわゆる“ポリドクター”に該当)など、歯科レセプトから歯周病等の歯科診断名や残存歯の数、受診頻度、受診中断などを把握した。また、健診歴がある場合は採血データに加え、体重変化の有無、椎体骨折の潜在を示唆する身長減の有無を把握した。

事業対象者のサルコペニアやフレイルを評価するため、体成分分析装置(InBody S10®)を用いた筋肉量や脂肪量の測定(体組成測定)と、歩行速度、5回椅子立ち上がりテスト、バランステスト、片足立ち、握力測定(身体機能と筋力の測定)を実施した。また、視・触診による脊椎アラインメントや膝・股関節の変形等を把握した。さらに3単語再生による認知機能のスクリーニングを行った。

以上、「KDB(レセプトや健診データ)」と「測定」から得る客観的な情報に基づき、医師が参加する事例検討会を定期的で開催し、フレイルやサルコペニア等を含む転倒リスクや、軽度認知機能障害(MCI)の実際例など多様なリスクを包括的に把握した上で、個別性を踏まえた保健指導を提供するノウハウを蓄積しつつある。

医師会として事業を受託したからこそ得られた知見は、内科、外科、整形外科等の外来患者が潜在的に有しているリスクであり、かかりつけ医が既診断疾病のみならず、転倒・骨折、フレイル・サルコペニア、認知機能低下、歯科疾患、健康の社会的決定要因など、患者に生じうるトラブルや疾病を防止するための、治療方針立案や生活指導に際して役立つと期待される。したがって、市内の医療・介護専門職に対して事例検討会を行うことに加え、医師会員に向けて、外来診療に資する知見を伝える目的での研修会を継続して実施している。

事業遂行にあたっては、実働部隊となる看護師や管理栄養士の存在が必要不可欠であり、松戸市医師会の場合、在宅医療・介護連携支援センターの職員が共同利用施設としてその機能を果たしている。令和5年度より追加した糖尿病性腎症重症化予防を含め、事例を供覧しつつ報告する。

モデル事業報告 香取郡市医師会

時 間 14:20～15:50 (各15分間)

会 場 幕張ホール2階 第1会場

香取郡市医師会 副会長 鴫田純一

現在我が国では、少子高齢化、核家族化、単身高齢者の増加、80-50問題など難問が山積している。香取郡市医師会は北総地区で利根川下流域の南側に位置し香取市と香取郡の3町（神崎町、多古町、東庄町）の医療を担っている。地域の公立病院や民間病院との連携にも務めている。平成29年当時香取市の高齢化率は33.5%、神崎町32.0%、東庄町35.2%、多古町34.2%と高齢化が進行していた。現在は香取地域の高齢化率は平均38.2%である。「自分の人生を自分で決め、また周囲からも個人として尊重される社会」、「住み慣れた地域で最期まで生き続ける希望」を満たし、「ときどき入院、ほぼ在宅」を支えるには行政を含め多職種間の協力が必要です。これの実現のため、医療者は入院前の外来時点から退院支援の必要性を把握し、退院後の療養生活を視野に入れる事が重要です。入院時から患者・家族の不安を軽減し、地域での療養生活がイメージできるような助言や指導が大切であり、また、地域の医師会、歯科医師会、行政、医療機関、消防、介護施設、在宅サービスの関係者がお互いの役割を明確にし、共通認識を持つことが重要です。そこで、入院から退院そして在宅等に至る必要な情報を共有し、香取地域の多職種の関係者が、医療・介護の連携を自らの課題としてとらえ、論議し検討・実践していくことを目的に「香取地域の医療と介護がつながる委員会」（平成29年発足）を立ち上げて取り組んできた。議論を重ね、患者・家族を香取地域全体で支える「香取地域入退院支援ルール」を作成した。千葉県が作成した地域生活連携シートを活用した香取版シートと入退院支援フローチャートからなる入退院支援ルールをもとに小冊子「香取地域における入院から退院までのフロー 活用マニュアル」を作成し関係者に配布した。患者・家族が望む場所に帰れる円滑な退院を目標に、入院・退院・在宅復帰（介護サービスを含め）を通じての切れ目のないサービスの提供・支援を開始した。香取地域一体での取り組みとして発展させてきた。しかし香取市以外の行政区を一つに纏めることは難しく問題が残った。十分とは言えないが、医師会や病院や訪問看護ステーション等の各機関の取り組みにより、多職種との連携は取りやすくなった。その後、この事業は「香取地域在宅医療体制構築運営会議」がこれまでの活動を総括し引き継いだ。その支援事業の一環として「かとり地域在宅医療支援センター」（県立佐原病院に業務委託）を設置し、バックベットの確保や患者登録制度を作成し実施し、3年間で400件以上の相談を受けた。内訳は相談窓口を通してバックベット登録314名、レスパイト利用述べ102名であった。今後の発展を期待していたが令和4年度で県の事業支援が満了となり、今後各市町の地域包括支援センターが相談窓口となり事業の引継がなされた。平行してワーキンググループ会議（構成：当医師会、県立佐原病院、香取おみがわ医療センター、行政；1市3町、香取保健所、香取広域消防本部）を開催した。この会議が実施したアンケートを元に介護関係も医療機関と連絡できる「香取郡市医療機関連絡方法一覧」を香取市高齢者福祉課の協力で作成し、香取市担当ケアマネージャーに配布した。令和5年度以降の継続支援を依頼していた香取市からの補助が認められず、これらの事業は打ち切りとなった。現在、令和6年度からの事業再開の為の予算計上を香取市に依頼している。

モデル事業報告 山武郡市医師会

時 間 14:20～15:50 (各15分間)

会 場 幕張ホール2階 第1会場

「骨粗鬆症性大腿骨近位部骨折二次予防のための地域での情報伝達システム構築の試み」

さんむ医療センター整形外科部長・医務部長 石川哲大

高齢化に伴う骨粗鬆症を起因とした脆弱性骨折数の増加を背景として、2022年4月の診療報酬改定において、大腿骨近位部骨折患者に対する「二次性骨折予防継続管理料」、「緊急整復固定加算」「緊急挿入加算」が新設された。これは、大腿骨近位部骨折後の骨粗鬆症の評価と治療を行うことが再骨折予防のために重要であることから、急性期病院で評価と治療を開始し（加算の区分イ：二次性骨折予防継続管理料Ⅰ 1000点）、回復期病院（ロ：二次性骨折予防継続管理料Ⅱ 750点）や外来診療を行う施設（ハ：二次性骨折予防継続管理料Ⅲ 500点）でこれらを継続していくことで管理料が算定できるものである。この場合、急性期病院で（イ）を算定していることが回復期病院や診療所で（ロ）や（ハ）を算定する要件になっている。

しかし、運用が始まり1年半が経過し、回復期病院や診療所においてはその患者が急性期病院で（イ）を算定しているのかどうか、また急性期病院においては回復期病院やクリニックで評価と治療が継続されているのかどうか、など施設間での情報の共有が大きな課題となっている。診療情報提供書に記載する、二次性骨折予防継続管理料加算の情報伝達ための書式を新たに作成する、薬手帳にシールを貼付する、など各施設さまざまな取り組みをしているが、広く汎用されるような方法はまだ確立されていない。

そこで、山武東金地区の急性期病院、回復期病院、診療所、老健などの入所施設で、患者情報を共有することや情報伝達システムを確立させることを目的とした定期的な会合を開催することを計画している。さんむ医療センターでは2015年より骨粗鬆症理エゾンサービsteamを組織しており、これまで多施設や行政と連携し骨粗鬆症の一次骨折予防と二次骨折予防に取り組んできた経緯がある。約8年にわたる活動の中で築き上げてきた関係性を活かし、管理料加算をスムーズに取得する仕組みを作成することを目的とし、その結果として骨粗鬆症の評価と治療を機能的に継続し、地域における二次骨折発生を抑制したいと考えている。多施設をつなぐ多職種ミーティングのプラットフォームとしては、ITシステムの導入を検討している。病院・診療所・施設による地域における骨粗鬆症診療を目的とした多施設の定期的な会合を開催する仕組みを築き、ITを利用した簡便な連携システムを構築することによって、地域の大腿骨近位部骨折の再骨折を減少させ、将来的な医療費の削減に繋げていきたいと考えている。

モデル事業報告 市原市医師会

時 間 14:20～15:50 (各15分間)

会 場 幕張ホール2階 第1会場

病院と地域で切れ目のない支援を行うための入退院支援モデル事業経過報告

市原市医師会 会長 中村文隆

平成26年度から3か年で脳卒中患者退院時支援事業に参加し、市原市、市原市医師会、市原市歯科医師会、市原市薬剤師会、急性期病院・回復期病院（医師、看護師、理学療法士、医療ソーシャルワーカー、居宅介護支援事業所、市原市地域包括支援センター、と協同で千葉県地域生活連携シートを核としたルールをケアマネージャーがいる場合といない場合に分けて作成した。

平成29年度以降は対象を、脳卒中以外の疾患に拡大し、入院した時点から退院時、更には退院後の在宅療養における多職種連携を促進するための、「入退支援の仕組みづくり」の普及を継続して進めている。

在宅介護連携推進会議では、定期的に市原市在宅医療・介護連携推進に関するアンケートを実施しており、入退院支援ルールの認知度に関する最新のアンケート結果を下に示す。薬局や無床診療所など入退院にかかわらない施設の認知度は低かったが、介護保険施設、病院、有床診療所など入退院にかかわる施設の認知度は比較的高いという結果であった。

最新のアンケート結果も含めて、入退院支援ルールの現状と課題について述べたい。

施設種別		知っている	知らない
市内医療機関	病院	3 (60%)	2 (40%)
	有床診療所	2 (50%)	2 (50%)
	無床診療所	11 (33.3%)	22 (66.7%)
	歯科診療所	9 (19.6%)	37 (80.4%)
	薬局	6 (13.3%)	39 (86.7%)
	訪問看護ステーション	6 (35.3%)	11 (64.7%)
市内介護保険施設等	介護老人福祉施設	4 (36.4%)	7 (63.6%)
	介護老人保健施設	4 (57.1%)	3 (42.9%)
	軽費老人ホーム	1 (100%)	0 (0%)
	ケアハウス	2 (100%)	0 (0%)
	地域密着型特別養護老人ホーム	1 (100%)	0 (0%)
	養護老人ホーム	0 (0%)	1 (100%)
	訪問介護事業所	15 (50%)	15 (50%)
	居宅介護支援事業所	29 (56.9%)	22 (43.1%)
地域包括支援センター	6 (66.7%)	3 (33.3%)	

分科会報告

時 間 15:50～16:20

会 場 幕張ホール2階 第1会場

(座長) 東京歯科大学市川総合病院脳神経外科教授 片山 正輝
帝京大学ちば総合医療センター管理栄養士 鯨岡 春生

【分科会報告】 (各5分間)

(1) リハビリテーション分科会

新東京病院 作業療法士 伊藤 正樹

(2) 薬剤師分科会

プラザ薬局習志野 薬剤師 溜淵 智之

(3) 入退院支援分科会

東京歯科大学市川総合病院 看護師 松田留美子

(4) 栄養士分科会

船橋市立医療センター 管理栄養士 松原 弘樹

(5) 看護職分科会

東邦大学医療センター佐倉病院 看護師 黒沼佐与子

(6) 医療ソーシャルワーカー分科会

千葉みなとリハビリテーション病院 社会福祉士 中野 まや

総括

時 間 16 : 20～16 : 30

会 場 幕張ホール2階 第1会場

地域連携推進委員会副委員長
千葉県脳卒中等連携意見交換会代表
成田リハビリテーション病院
千葉県総合救急災害医療センター
古口徳雄

新型コロナウイルス感染症も昨年5月から5類感染症とインフルエンザと同様の対応となり、徐々に以前の生活が戻ってきつつあります。「第15回千葉県脳卒中等連携の会」も久々に現地開催の運びとなりました。ダイヤモンド・プリンセス号で世の中がざわついていた2020年2月「第11回」以来の現地開催になります。「第11回」は前年2019年9月房総半島を襲った令和元年房総半島台風（台風15号）の被災地域として行政・医療・介護の連携をテーマに開催しました。また、脳卒中の医療・介護体制の整備に大きな期待が寄せられていた「脳卒中・循環持病対策基本法（健康寿命の延伸を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法_平成30年法律第105号）」の施行が平成31年（2019）12月1日ですが、まさにこのタイミングで中国河北省武漢で新型コロナウイルスによる重症肺炎患者が報告され、パンデミックの波が押し寄せてきました。「第11回」の特別講演の中ではダイヤモンド・プリンセス号で何が起きているかリアルタイムな情報も紹介されました。その後、多くの学術集会・会議等がオンライン開催となり、はがゆい感じがありつつも、オンライン開催の利点も感じているところでした。

今回は、テーマとして非常に重い「ACP」・「人生会議」について考えてみようと言うことが、「第14回」の準備中から話し合われてきました。千葉県内で広く使われている医療・介護連携ツールである「千葉県地域生活連携シート」にも記載欄を設けており、千葉県脳卒中地域連携パス（CAMP-S）運用マニュアルでも取り上げられています。しかし、医療・介護の現場では本人・家族とどのような場面で、どのような話し合いを持ち、どのような意思決定を行うのか、なかなか困難な課題です。

そこで、午前中の分科会でも職種ごとのテーマとしてACPを取り上げた分科会も多く、医師分科会では初の試みとなる多職種によるロールプレイを、国際医療福祉大学市川病院荻野恵美子先生のご指導の下に開催いたします。午後の全体会では東京大学大学院人文社会系研究科特任教授会田薫子先生に「意思決定支援とは～共同意思決定とACP」というテーマで御講演いただきます。今後千葉県の地域連携の中で活かされていくことを期待いたします。

何よりも4年ぶりに見るお互いの顔です。一日存分に楽しみましょう。

參考資料

千葉県地域生活連携シート（入院時等）

A表

記入日 年 月 日

事業所（施設）名	
担当者名	
電話番号	

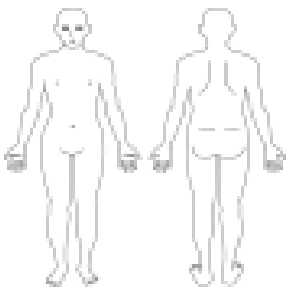


病院・診療所名	
担当部署・担当者名	
電話番号	

※担当ケアマネ以外から本シートを受け取った場合は、遅くとも入院翌日には担当ケアマネに連絡しましょう。

本シートは、医療・介護関係者が御本人の生活を支援するために必要な情報共有を行うことを目的としています。提供日 年 月 日
 以下の情報は、利用者本人及び家族の同意を得て提供しています。入院日 年 月 日
 なお、入院先の医療機関は、転院時に、転院先に本シートの写しを送付するよう努めましょう。

氏名	明大昭	生年月日	年 月 日	年齢	歳	性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>			
住所	TEL（自宅）		TEL（携帯）		職業					
住環境	<input type="checkbox"/> 戸建 <input type="checkbox"/> 集合住宅（階 エレベーター <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有） <input type="checkbox"/> 施設等（ ）									
緊急時連絡先	氏名	続柄	住所	電話番号						
家族構成	年金等の種類 <input type="checkbox"/> 国民年金 <input type="checkbox"/> 厚生年金 <input type="checkbox"/> 障害年金 <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> その他									
◎:本人 □:男性 ○:女性 ■●:死亡 主:主介護者 副:副介護者 ☆:キーパーソン	介護保険自己負担割合		割	<input type="checkbox"/> 不明	経済的支援	<input type="checkbox"/> 要	医療保険	<input type="checkbox"/> 未加入		
	障害等認定		<input type="checkbox"/> 身障（ ）	<input type="checkbox"/> 精神（ ）	<input type="checkbox"/> 療育	<input type="checkbox"/> 特定疾患（ ）				
	生活歴（これまでの職業、家庭生活、趣味、習慣など）									
ケアマネジャーとして の意見	家族の介護力及び特記事項 療養・生活に関する受け止め方・意向等 <input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 日中独居 <input type="checkbox"/> 子と同居 <input type="checkbox"/> 高齢者世帯 <input type="checkbox"/> その他									
リビングウィル等の意思表示	確認日		年 月 日	確認相手	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> その他（ ）	連絡先 氏名： 電話番号：				
要介護度	<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 区分変更中 <input type="checkbox"/> 未申請		有効期限（ 年 月 日 ～ 年 月 日 ）							
障害高齢者の日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> J1 <input type="checkbox"/> J2 <input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2		<input type="checkbox"/> 医師等の判断							
認知症高齢者の日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M		<input type="checkbox"/> ケアマネジャー等の判断							
介護サービス 利用状況	訪問	<input type="checkbox"/> 介護（ / 週 ） <input type="checkbox"/> 入浴（ / 週 ） <input type="checkbox"/> リハビリ（ / 週 ） <input type="checkbox"/> 看護（ / 週 ）								
	通所	<input type="checkbox"/> 介護（ / 週 ） <input type="checkbox"/> リハビリ（ / 週 ）								
	短期入所	生活介護（ ）			療養介護（ ）					
	福祉用具	福祉用具貸与（ ）			特定福祉用具販売（ ）					
かかりつけ情報 （医師、歯科、 薬局）	①		主病名		医療機関名等		診療科目・主治医等		電話番号	
	②		頻度： 回/月							
	③		頻度： 回/月							
既往歴	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 悪性腫瘍 <input type="checkbox"/> 急性呼吸器感染症 <input type="checkbox"/> 脳血管障害 <input type="checkbox"/> 骨折 <input type="checkbox"/> その他（ ）									

利用者氏名				事業所（施設）名、担当者名							
最近半年間での入院	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	期間：	年 月 日	～	年 月 日						
入院頻度	<input type="checkbox"/> 頻度は高い／繰り返している <input type="checkbox"/> 頻度は低いが、これまでもある <input type="checkbox"/> 今回が初めて			医療機関名：	理由：						
入院前に実施している医療処置	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 点滴 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 喀痰吸引 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 経鼻栄養 <input type="checkbox"/> 経腸栄養 <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> 尿道カテーテル <input type="checkbox"/> 尿路ストーマ <input type="checkbox"/> 消化管ストーマ <input type="checkbox"/> 痛みコントロール <input type="checkbox"/> 排便コントロール <input type="checkbox"/> 自己注射 () <input type="checkbox"/> その他 ()										
居宅療養管理指導	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(職種：)									
在宅での生活状況											
移動方法	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	<input type="checkbox"/> 手引き <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> シルバーカー <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> その他 ()									
移乗	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助										
更衣	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助										
起居動作	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助										
整容	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助										
口腔ケア	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	口腔清潔	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 著しく不良		口臭	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有					
		義歯	上顎	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 未使用)		下顎	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 未使用)				
		嚥下状態(むせ)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> 常に)		咀嚼状況	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良					
食事	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	食形態	<input type="checkbox"/> 普通 嚥下食 (<input type="checkbox"/> 刻み <input type="checkbox"/> ソフト食 <input type="checkbox"/> ペースト食 <input type="checkbox"/> とろみ)								
		制限	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 塩分 <input type="checkbox"/> 水分 <input type="checkbox"/> その他 ())								
		食事回数	回/日(朝 時頃 昼 時頃 夜 時頃)	UDFの食形態							
入浴	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	入浴の制限	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> シャワー浴 <input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> その他 ())								
排泄	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	排尿能力	<input type="checkbox"/> 自排尿 <input type="checkbox"/> 間欠導尿 <input type="checkbox"/> 留置カテーテル		排便習慣	回/ (<input type="checkbox"/> 日・ <input type="checkbox"/> 週)					
		日中	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> ポータブル <input type="checkbox"/> 尿器 <input type="checkbox"/> オムツ <input type="checkbox"/> リハビリパンツ <input type="checkbox"/> その他 ()		夜間	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> ポータブル <input type="checkbox"/> 尿器 <input type="checkbox"/> オムツ <input type="checkbox"/> リハビリパンツ <input type="checkbox"/> その他 ()					
服薬管理	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	処方薬	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 別紙参照)		<input type="checkbox"/> 一包化 <input type="checkbox"/> 粉碎 <input type="checkbox"/> 簡易懸濁法						
		薬剤管理	<input type="checkbox"/> 自己管理 <input type="checkbox"/> 他者管理		眠剤の使用	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 睡眠の状態 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良					
		服薬状況	<input type="checkbox"/> 処方通り服用 <input type="checkbox"/> 時々飲み忘れ <input type="checkbox"/> 飲み忘れが多い、処方が守られていない <input type="checkbox"/> 服薬拒否								
麻痺	状態 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中度 <input type="checkbox"/> 重度										
	部位 <input type="checkbox"/> 左上肢 <input type="checkbox"/> 右上肢 <input type="checkbox"/> 左下肢 <input type="checkbox"/> 右下肢										
褥瘡	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (部位：)										
皮膚疾患	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (部位：)										
視力	<input type="checkbox"/> 日常生活に支障なし <input type="checkbox"/> はっきり見えない <input type="checkbox"/> ほとんど見えない <input type="checkbox"/> 判断不能							眼鏡使用	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
聴力	<input type="checkbox"/> 日常生活に支障なし <input type="checkbox"/> はっきり聞こえない <input type="checkbox"/> ほとんど聞こえない <input type="checkbox"/> 判断不能							補聴器使用	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
言葉	<input type="checkbox"/> 話せない <input type="checkbox"/> 話せる (程度：)										
意思伝達	<input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> できる (伝達方法：)										
短期記憶	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし (<input type="checkbox"/> 前日の夕食のメニューが答えられる → <input type="checkbox"/> 再度確認しても同じ答え)										
行動・精神症状等	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 幻覚・妄想 <input type="checkbox"/> 昼間寝ていることが多い <input type="checkbox"/> 夜間不眠・不穏 <input type="checkbox"/> 意欲の低下 <input type="checkbox"/> 暴言・暴力 <input type="checkbox"/> 同じ事を何度も聞く <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> その他 ()									
喫煙	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(本くらい/日)	飲酒	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (合くらい/日)							
その他 (介護上、特に注意すべき点等)											
<input type="checkbox"/> 院内の多職種カンファレンスへの参加希望		<input type="checkbox"/> 退院前カンファレンスへの参加希望		<input type="checkbox"/> 退院前訪問指導を実施する場合の同行希望							
(具体的な要望)											

退院の検討を始めた段階で、上記担当者へ連絡をお願いします。

受取者サイン
(受付印等)

千葉県地域生活連携シート（退院時）

B表

記入日 年 月 日

病院・診療所名	
担当部署・担当者名	
電話番号	

⇒

事業所（施設）名	
担当者名	
電話番号	

○ケアマネジャー記入欄

回目	聞き取り日	情報提供を受けた職種（氏名）	会議出席
1	年 月 日		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
2	年 月 日		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	年 月 日		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

以下の情報は、利用者本人及び家族の同意を得ています。

姓がな 氏名		生年月日	明大昭 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	年 月 日	年齢	歳	性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>	
住所				TEL（自宅）			職業		
				TEL（携帯）					
住環境	<input type="checkbox"/> 戸建 <input type="checkbox"/> 集合住宅（階 エレベーター <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有） <input type="checkbox"/> 施設等（ ）								
緊急時連絡先	氏名	続柄	住所	電話番号					
家族構成図		年金等の種類	<input type="checkbox"/> 国民年金 <input type="checkbox"/> 厚生年金 <input type="checkbox"/> 障害年金 <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> その他						
◎:本人 □:男性 ○:女性 ■●:死亡 主:主介護者 副:副介護者 ☆:キーパーソン		介護保険自己負担割合	割 <input type="checkbox"/> 不明		経済的支援	<input type="checkbox"/> 要 医療保険 <input type="checkbox"/> 未加入			
		障害等認定	<input type="checkbox"/> 身障（ ） <input type="checkbox"/> 精神（ ） <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 特定疾患（ ）						
		生活歴（これまでの職業、家庭生活、趣味、習慣など）							
<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 日中独居 <input type="checkbox"/> 子と同居 <input type="checkbox"/> 高齢者世帯 <input type="checkbox"/> その他									
家族の介護力及び特記事項									

要介護度	<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 区分変更中 <input type="checkbox"/> 未申請			有効期限（年 月 日 ~ 年 月 日）				
	<input type="checkbox"/> 事業対象者 要支援 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2			要介護 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5				
障害高齢者の日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> J1 <input type="checkbox"/> J2 <input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2						<input type="checkbox"/> 医師等の判断	
認知症高齢者の日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M						<input type="checkbox"/> ケアマネジャー等の判断	

入院期間	年 月 日 ~ 年 月 日 予定	手術	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
現在治療中の疾患	①	②	③
	<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定	<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定	<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定

入院の経緯・原因となった病名等	
-----------------	--

傷病の経過及び治療経過	
-------------	--

本人、家族への退院前指導の内容	在宅医療措置： <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（裏面参照） 説明を聞いた相手： <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> その他（ ）
-----------------	---

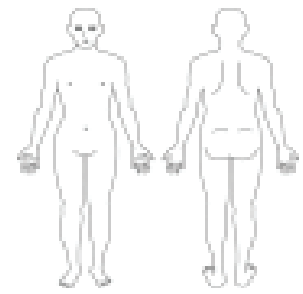
療養・生活に関する受け止め方・意向等	本人	家族
	リビングウィル等の意思表示 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 確認相手 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	確認日 年 月 日	連絡先 氏名： 電話番号：

感染症	<input type="checkbox"/> HBV <input type="checkbox"/> HCV <input type="checkbox"/> MRSA： <input type="checkbox"/> 保菌 <input type="checkbox"/> 発症（部位： <input type="checkbox"/> 痰 <input type="checkbox"/> 血痰 <input type="checkbox"/> 尿 <input type="checkbox"/> 創部） <input type="checkbox"/> その他（ ）							
-----	---	--	--	--	--	--	--	--

利用者氏名

記入日： 年 月 日

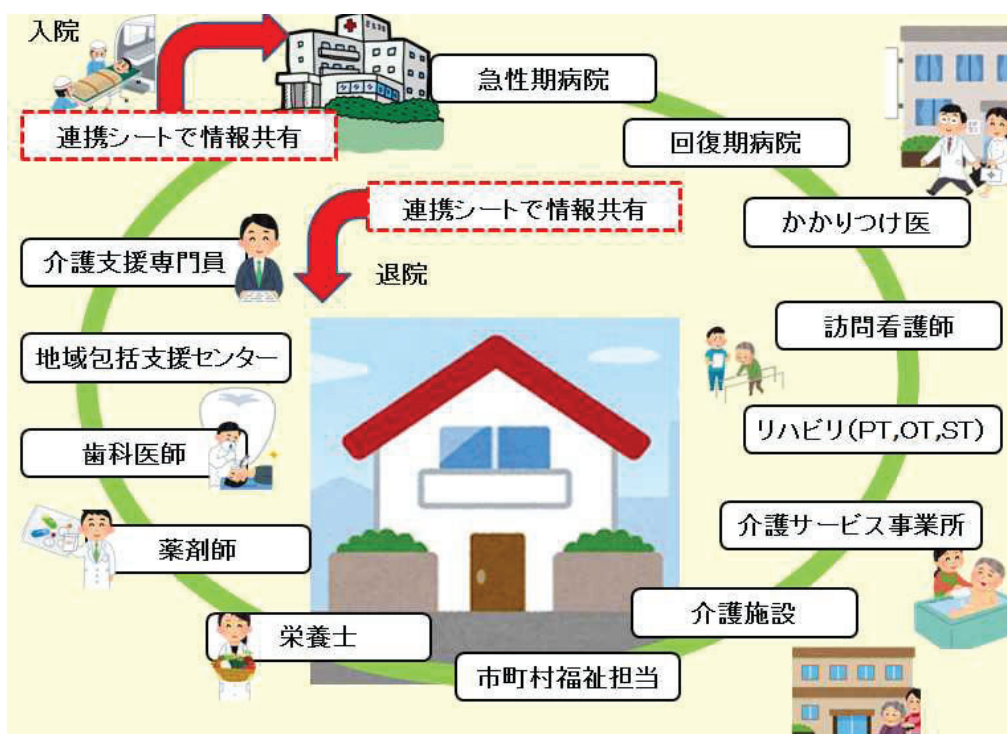
	自立	見守り	一部介助	全介助	病棟での様子														
移動方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	手引き <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> シルバーカー <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> その他 ()								
移乗	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
更衣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
起居動作	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
整容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
口腔ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	口腔清潔	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	口臭	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
					義歯	上顎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(<input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 未使用)	下顎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(<input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 未使用)		
					嚥下状態(むせ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(<input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> 常に)	咀嚼状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
食 事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	食形態	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	普通 嚥下食 (<input type="checkbox"/> 刻み <input type="checkbox"/> ソフト食 <input type="checkbox"/> ベースト食 <input type="checkbox"/> とろみ)			
					制限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経管栄養(方法: 内容: 量: 所要時間:)
					食事回数	回/日(朝 時頃 昼 時頃 夜 時頃)				UDFの食形態									
入 浴	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	入浴の制限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無 有 (<input type="checkbox"/> シャワー浴 <input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> その他 ())			
排泄	排尿	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	排尿能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自排尿 間欠導尿 留置カテーテル 排便習慣 回/ (<input type="checkbox"/> 日・ <input type="checkbox"/> 週)			
	排便	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日中	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	トイレ ポータブル 尿器 オムツ リハビリパンツ その他 ()			
服薬管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	処方薬	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無 有 (<input type="checkbox"/> 別紙参照) <input type="checkbox"/> 一包化 <input type="checkbox"/> 粉碎 <input type="checkbox"/> 簡易懸濁法			
					薬剤管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自己管理 他者管理 眠剤の使用 無 有 睡眠の状態 良 不良
					服薬状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
麻 痺	状態	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無 軽度 中度 重度			
	部位	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	左上肢 右上肢 左下肢 右下肢			
褥 瘡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無 有 (部位:)			
皮膚疾患	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無 有 (部位:)			
視 力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日常生活に支障なし はっきり見えない 眼鏡使用 ほとんど見えない 判断不能 無 有			
聴 力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日常生活に支障なし はっきり聞こえない 補聴器使用 ほとんど聞こえない 判断不能 無 有			
言 葉	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	話せない 話せる (程度:)			
意思伝達	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	できない できる (伝達方法:)			
短期記憶	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	問題あり 問題なし (<input type="checkbox"/> 前日の夕食のメニューが答えられる → → <input type="checkbox"/> 再度確認しても同じ答え)			
行動・精神症状等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無 有 幻覚・妄想 昼間寝ていることが多い 夜間不眠・不穏 意欲の低下 暴言・暴力 同じ事を何度も聞く 徘徊 その他 ()			
退院後必要な事柄	診療形態等	<input type="checkbox"/> 外来 <input type="checkbox"/> 訪問診療 <input type="checkbox"/> 訪問看護 病状悪化等緊急時の連絡先: 紹介先医療機関等:																	
	医療	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 点滴 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 喀痰吸引 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 経鼻栄養 <input type="checkbox"/> 経腸栄養 <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> 尿道カテーテル <input type="checkbox"/> 尿路ストーマ <input type="checkbox"/> 消化管ストーマ <input type="checkbox"/> 痛みコントロール <input type="checkbox"/> 排便コントロール <input type="checkbox"/> 自己注射 () <input type="checkbox"/> その他 ()																	
	看護	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 血圧 <input type="checkbox"/> 水分制限 <input type="checkbox"/> 食事制限 <input type="checkbox"/> 食形態 <input type="checkbox"/> 嚥下 <input type="checkbox"/> 口腔ケア <input type="checkbox"/> 清潔ケア <input type="checkbox"/> 血糖コントロール <input type="checkbox"/> 排泄 <input type="checkbox"/> 皮膚状態 <input type="checkbox"/> 睡眠 <input type="checkbox"/> 認知機能・精神面 <input type="checkbox"/> 服薬指導 <input type="checkbox"/> 療養上の指導 () <input type="checkbox"/> ターミナル <input type="checkbox"/> その他 ()																	
	リハビリ (目標や内容等)	生活目標 運動制限 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()																	
	必要内容	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 本人指導 <input type="checkbox"/> 家族指導 <input type="checkbox"/> 関節可動域練習 <input type="checkbox"/> 筋力増強練習 <input type="checkbox"/> バランス練習 <input type="checkbox"/> 麻痺・筋緊張改善練習 <input type="checkbox"/> 起居/立位等基本動作練習 <input type="checkbox"/> 摂食・嚥下訓練 <input type="checkbox"/> 言語訓練 <input type="checkbox"/> ADL練習 <input type="checkbox"/> IADL練習 <input type="checkbox"/> 疼痛管理 <input type="checkbox"/> 更生装具・福祉用具等管理 <input type="checkbox"/> 運動耐容能練習 <input type="checkbox"/> 地域活動支援 <input type="checkbox"/> 社会参加支援 <input type="checkbox"/> 就労支援 <input type="checkbox"/> その他 ()																	
		禁忌事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	内容・留意点								症状・病状の予後・予測						
	介護サービス	訪問	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護 (/ 週) 入浴 (/ 週) リハビリ (/ 週) 看護 (/ 週)		
		通所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護 (/ 週) リハビリ (/ 週)		
		短期入所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生活介護 () 療養介護 ()		
		福祉用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	福祉用具貸与 () 特定福祉用具販売 ()		
その他																			
その他 (退院後の生活で注意すべき点、在宅復帰のために整えなければならない要件等)																			



※麻痺や褥瘡等の位置

千葉県地域生活連携シートの手引き

～入退院時等の情報共有に係る千葉県参考様式～



平成30年7月
千葉県

千葉県健康福祉部高齢者福祉課

千葉市中央区市場町1-1

電話：043-223-2342

FAX：043-227-0050

HP：<http://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/renkei/renkei-sheet.html>



目 的

「千葉県地域生活連携シート」は、医療と介護サービスをスムーズに提供する事を目的に、居宅介護支援事業所や介護老人福祉・保健施設等の介護支援専門員（ケアマネジャー）と病院の担当者、かかりつけ医、訪問看護師等が利用者（患者）の情報を共有するための千葉県参考様式です。

なお、介護報酬の「入院時情報連携加算」及び「退院・退所加算」の算定にも活用できます。

また、診療報酬の「入院時支援加算」「入退院支援加算」「介護支援等連携指導料」「退院時共同指導料」等の関係職種間の情報共有にも活用できます。

地域での活用

地域の実情に応じ、項目の追加等の様式変更を行うことは可能です。

ただし、様式を変更する場合には、県参考様式との相違による混乱が生じないように、地域の関係者間で十分に協議・調整を行ってください。

個人情報の取り扱い

本シートには、利用者の身体機能等、多くの個人情報が含まれておりますので、取り扱いには最大限の注意を払ってください。

本シートの記入又は送付に当たっては、必ず本人又は家族の同意を得てください。

また、利用者本人及び家族等が見ることを前提に作成してください。

なお、関係機関に持参以外の方法（FAXや郵送等）で送付する際は、一旦利用者等の氏名や住所、電話番号などの欄を空欄にして送付した後、電話連絡し、送付先で氏名等を記入してもらう等の配慮が必要です。

運用に当たっては、「個人情報の保護に関する法律」、「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」及び「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」に沿い、各自・各所属が責任を持って個人情報を取り扱ってください。

居宅介護支援等の契約時や入院時等において、今後の支援を見据えて、医療・介護関係者への情報提供も含めた個人情報の使用について、包括的同意を得ておく方法もあります。

利用方法

A表【千葉県地域生活連携シート(入院時等)】

居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等の担当介護支援専門員が、介護サービス利用者の在宅での日頃の状況を把握するために記入し保管しておくほか、入院時にその情報（A表）を医療機関に送付するものです。

B表【千葉県地域生活連携シート(退院時)】

居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等の担当介護支援専門員と病院の担当者、かかりつけ医、訪問看護師等が、利用者（患者）の退院の際、B表を活用し必要な情報を共有し、介護支援専門員が居宅サービス計画の作成等に活用するものです。

また、「診療情報提供書」に添付することにより病院とかかりつけ医間で情報共有を図る事ができます。

※A表は介護報酬の「入院時情報連携加算」の標準様式例を、B表は介護報酬の「退院・退所加算」の標準様式例を参考に作成しています。（この標準様式例は、当該様式以外の様式等の使用を拘束する趣旨のものではないと通知されております。）

① 在宅（平時）

【介護支援専門員】

介護支援専門員は、概ね半年に一度、利用者の在宅安定時の状況をA表に記入し保管しておきましょう。

また、居宅介護支援の開始に当たり、利用者本人・家族に対し入院時に担当介護支援専門員の氏名等を入院先医療機関に提供するよう依頼します。

医療・介護連携の趣旨に基づき例えば、利用者本人・家族には、医療保険証や介護保険証等とA表の写しや担当介護支援専門員の名刺を一緒に保管しておくことを推奨します。

このほか、利用者の緊急入院等に備え、救急隊がすぐに持ち出せるような場所に保管しておく等、地域で検討し利用者や家族等に伝えておくよう努めましょう。

利用者の身体機能等に変化があった場合には、その都度、直近の情報を記入してください。

また、月一回のモニタリングの際、A表をモニタリングシートとして使用することもできます。

② 入院時

【介護支援専門員】

介護支援専門員は、利用者が入院した際、医療機関に最新の情報を記載したA表を持参又はFAX等で送付し、利用者情報を共有しましょう。

※一般的に医療機関では、入院後3日以内にスクリーニングを行うため、介護支援専門員は、迅速に情報提供に努めましょう。

なお、シートを送付した際は、「居宅介護支援経過」に、入院日、送付日及び送付先の名称を記録してください。

(記入例)「H29. 4. 1△△病院に入院。H29. 4. △△病院に地域生活連携シートを送付」

【医療機関】

医療機関は、救急搬送等により入院をした方が介護保険サービス利用者であった場合は、遅くとも入院翌日には、担当介護支援専門員に連絡をしましょう。

また、本シートの情報を院内の関係者で共有しましょう。

【介護支援専門員、医療機関】

退院までの間、円滑に連絡調整を図るため、介護支援専門員と医療機関は、担当者の氏名や連絡先・連絡方法(手段や望ましい時間帯)等を確認し合い、控えておきましょう。

【介護報酬】○入院時情報連携加算

入院後3日以内に情報提供(提供方法は問わない) : 200単位

入院後7日以内に情報提供(提供方法は問わない) : 100単位

③ 転院時

【医療機関】

当該患者の転院時に、転院先にA表の写しを送付するよう努めましょう。その際は、患者・家族に同意を得た上で送付しましょう。

また、転院先には、診療情報提供書と共に送付する方法もあります。

④ 退院前

【医療機関】

医療機関は、退院の検討を始めた段階で、担当介護支援専門員に連絡をしましょう。

また、関係者とのカンファレンス前までに、院内の関係者から情報を収集した上で、介護支援専門員と協力しB表を記入するよう努めましょう。

記入したB表を活用して、介護支援専門員や関係者間で下記のような情報を共有しましょう。

- ・退院後に地域で利用可能な介護サービスや要介護認定の申請手続きの情報
- ・退院後に想定されるケアプラン作成等に必要な情報や退院後の外来診療の見込

⑤ 退院後

【介護支援専門員】

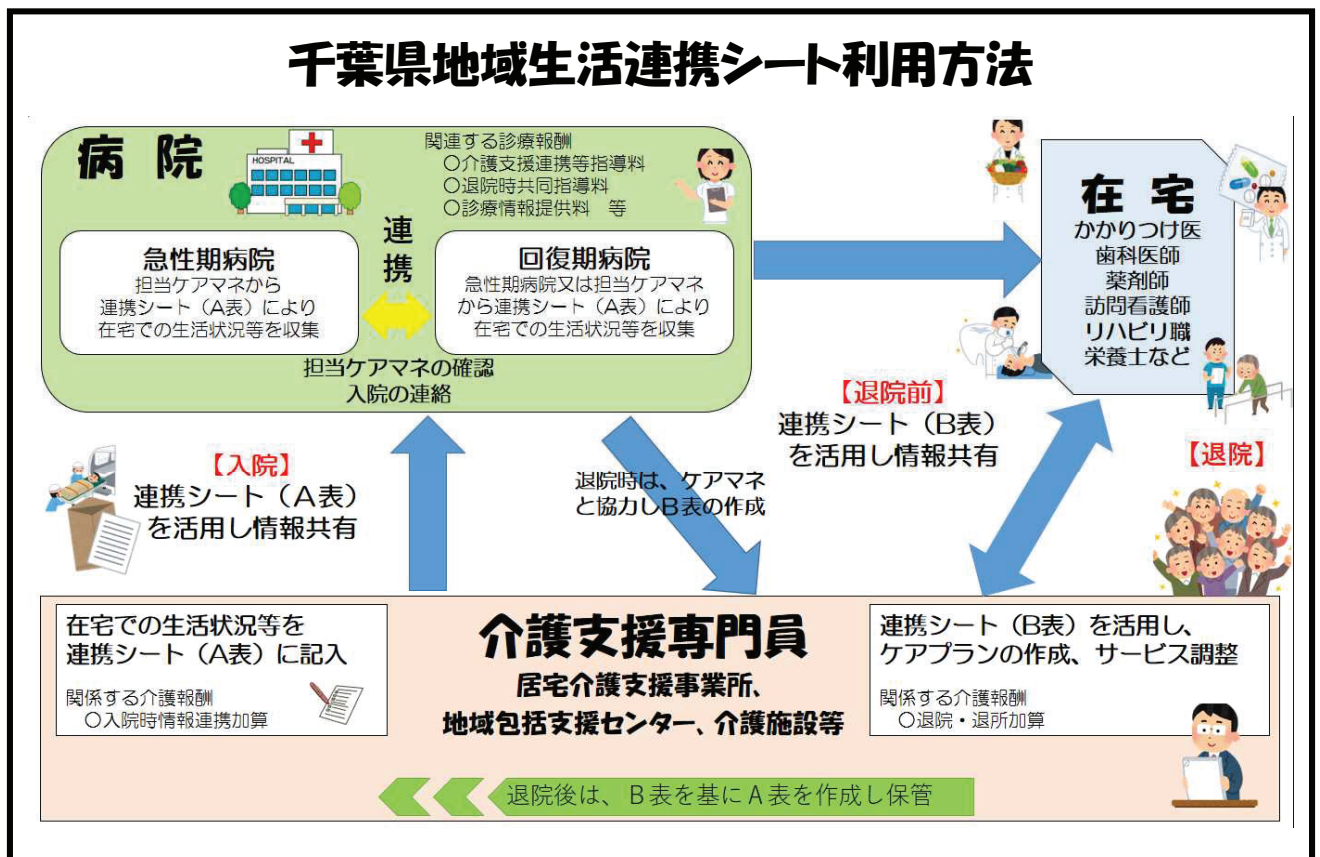
介護支援専門員はケアプランを作成し、その写しを速やかに医療機関に提供しましょう。

【介護報酬】 ○退院・退所加算

	カンファレンス参加 無	カンファレンス参加 有
1回	450単位	600単位
2回	600単位	750単位
3回	×	900単位

【関連する診療報酬】 ※算定要件は、各自御確認ください。

- 入院時支援加算：200点
- 入退院支援加算1：一般病棟 600点 療養病棟 1,200点
- 入退院支援加算2：一般病棟 190点 療養病棟 635点
- 介護支援等連携指導料：400点（入院中2回に限る）
- 退院時共同指導料1：在宅療養支援診療所 1,500点 左記以外 900点
- 退院時共同指導料2：400点
（3者以上と共同して指導を行う場合に加算：2,000点）
- 退院前訪問指導料：580点
- 退院後訪問指導料：580点
- 診療情報提供料（I）：250点



記入上の留意点

記入時点 【A表、B表】	認定調査結果や主治医意見書等を参考に本シートを記入する場合、直近の状況と異なるときは、直近の状況を優先して記入してください。
経済的支援 【A表、B表】	生活保護等、行政の支援が必要と思われる場合はチェックを入れてください。
家族の介護力及び 特記事項 【A表、B表】	本シートは、利用者・家族が見ることを前提としていますので、家族や支援者等からの介護が見込めない場合や虐待の疑いがある場合等は、空欄とするか下記のように記載をした上で、口頭で送付先に伝えるようにしてください。 記載例) 生活困窮の場合 → 「経済的な調整が必要」 介護が見込めない場合や虐待の疑いがある時 → 「療養環境の調整が必要」
療養・生活に関する 受け止め方・意向等 【A表、B表】	本人及び家族の療養・生活に関する受け止め方・意向等があれば、具体的に記入してください。
リビングウィル等の 意思表示 【A表、B表】	リビングウィルとは、人生の最終段階において自分自身が希望する医療・ケアについて意思表示ができなくなったときに備えてあらかじめ書面等で自分の意思を示しておくものです。本人の意思は変化しうるものであることを踏まえ、家族等の信頼できる者も含めて本人とかけつけ医等の医療・ケアチームによる話し合いが繰り返し行われることが重要です。なお、意思表示方法は多様であり、民間でも様々な書式が作成されています。 (参考：千葉県医師会作成「私のリビングウィル」 http://www.chiba.med.or.jp/personnel/nursing/styles.html)
服薬管理 【A表、B表】	別紙参照の記載例（お薬手帳、処方箋 等）
リハビリテーション 【B表】	リハビリとは、運動、温熱やマッサージ、マシンを動かすだけではありません。その方の明日への希望となるような、生活目標を具体的に立てPT、OT、STといった専門職がいるサービスへ繋げてください。 (生活目標の記載例：畑作業ができるよう通所リハビリで屋外歩行訓練をする。自宅でお風呂に入るため浴槽のまたぎ動作を訪問リハビリで練習する。)
受取者サイン 【A表】	受け取りのサインは必須ではありませんが、確認の意味でサインをすることが望ましいです。
UDFの食事形態 【A表、B表】	日本介護食品協議会が策定した「UDF」自主規格は、以下となります。シートへの記載は、「容易にかめる」「歯ぐきでつぶせる」「舌でつぶせる」「かまなくてよい」から選択し記入してください。

区分形状	容易にかめる	歯ぐきでつぶせる	舌でつぶせる	かまなくてよい	
かむ力の目安	かたいものや大きいものはやや食べづらい	かたいものや大きいものは食べづらい	細かくてやわらかければ食べられる	固形物は小さくても食べづらい	
飲み込む力の目安	普通に飲み込める	ものによっては飲み込みづらいことがある	水やお茶が飲み込みづらいことがある	水やお茶が飲み込みづらい	
物性規格	かたさ上限値 N/m ²	5 × 10 ⁵	5 × 10 ⁴	ゾル 1 × 10 ⁴ ゲル 2 × 10 ⁴	ゾル 3 × 10 ³ ゲル 5 × 10 ³
	粘度下限値 mpa/s	—	—	ゾル 1500	ゾル 1500

千葉県脳卒中等連携の会CAMP-S参加証

第15回

千葉県脳卒中等連携の会CAMP-S Chiba Alliance Multi Profession-Stroke

所属：

職種：

氏名：

【プログラム】

メインテーマ：「いき方」を支える連携

日時 令和6年2月18日（日）9：50～16：30（開場 9:00～）

場所 TKP東京ベイ幕張ホール

千葉県千葉市美浜区ひび野2-3 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

【第一部】各分科会

リハビリテーション職／薬剤師／医師（多職種カンファレンス）／入退院支援／栄養士／看護職／医療ソーシャルワーカー

【第二部】特別講演、モデル事業報告、分科会報告、総括

〔特別講演〕

「意思決定支援とは — 共同意思決定とACP」

東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座

特任教授 会田 薫子

〔モデル事業報告〕

・千葉市医師会	理事	田那村 彰
・松戸市医師会	あおぞら診療所	沼沢 祥行
・香取郡市医師会	副会長	鴫田 純一
・山武郡市医師会	さんむ医療センター整形外科部長・医務部長	石川 哲大
・市原市医師会	会長	中村 文隆

〔分科会報告〕

・リハビリテーション分科会	新東京病院 作業療法士	伊藤 正樹
・薬剤師分科会	プラザ薬局習志野 薬剤師	溜渕 智之
・入退院支援分科会	東京歯科大学市川総合病院 看護師	松田留美子
・栄養士分科会	船橋市立医療センター 管理栄養士	松原 弘樹
・看護職分科会	東邦大学医療センター佐倉病院 看護師	黒沼佐与子
・医療ソーシャルワーカー分科会	千葉みなとリハビリテーション病院 社会福祉士	中野 まや

〔総括〕

千葉県医師会地域連携推進委員会副委員長

千葉県脳卒中等連携意見交換会代表 古口 徳雄

◆千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会

主な活動：

本協議会は、参加している県内の各急性期病院が協力して、千葉県共用脳卒中医療連携パスを用いた脳卒中地域連携の推進のための情報収集および提供や千葉県共用脳卒中医療連携パスにかかる連携会議の開催およびその支援を行います。

1. 千葉県共用脳卒中医療連携パスを用いた脳卒中地域連携の推進のための情報収集および提供
2. 千葉県共用脳卒中医療連携パスにかかる連携会議の開催およびその支援
3. その他、本会の目的を達成する為に必要な事業

令和6年1月1日現在

千葉県総合救急災害医療センター	東京歯科大学市川総合病院	東邦大学医療センター佐倉病院
国立病院機構千葉医療センター	順天堂大学医学部附属浦安病院	日本医科大学千葉北総病院
千葉市立青葉病院	行徳総合病院	国際医療福祉大学成田病院
千葉大学医学部附属病院	東京ベイ・浦安市川医療センター	国保旭中央病院
千葉脳神経外科病院	千葉県済生会習志野病院	亀田総合病院
千葉メディカルセンター	松戸市立総合医療センター	君津中央病院
船橋市立医療センター	千葉西総合病院	千葉県循環器病センター
谷津保健病院	新東京病院	千葉ろうさい病院
東京女子医科大学八千代医療センター	成田赤十字病院	帝京大学ちば総合医療センター
国立国際医療研究センター国府台病院	名戸ヶ谷病院	

◆千葉県回復期リハビリテーション連携の会

令和6年1月1日現在

富家千葉病院	船橋市立リハビリテーション病院	五香病院
柏戸病院	船橋総合病院	松戸リハビリテーション病院
千葉みなとリハビリテーション病院	船橋二和病院	成田病院
令和リハビリテーション病院	新八千代病院	成田リハビリテーション病院
千葉健生病院	八千代リハビリテーション病院	佐倉厚生園病院
平山病院	タムス浦安病院	長谷川病院
おゆみの中央病院	鎌ヶ谷総合病院	新八街総合病院
千葉県千葉リハビリテーションセンター	アクアリハビリテーション病院	印西総合病院
千葉南病院	袖ヶ浦さつき台病院	千葉白井病院
千葉中央メディカルセンター	イムス佐原リハビリテーション病院	成田富里徳洲会病院
みつわ台総合病院	平和台病院	季美の森リハビリテーション病院
タムス市川リハビリテーション病院	名戸ヶ谷あびこ病院	九十九里病院
大野中央病院	柏たなか病院	高根病院
国際医療福祉大学市川病院	北柏リハビリ総合病院	山之内病院
津田沼中央総合病院	千葉・柏リハビリテーション病院	五井病院
東京湾岸リハビリテーション病院	名戸ヶ谷病院	白金整形外科病院
習志野第一病院	千葉愛友会記念病院	リハビリテーション病院さらしな
薬園台リハビリテーション病院	東葛病院	亀田リハビリテーション病院
セコメディック病院	流山中央病院附属泉リハビリテーション病院	館山病院
千葉徳洲会病院	野田病院	東京さくら病院
東船橋病院	旭神経内科リハビリテーション病院	